

村上税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞

『「税」って何だろう。』

村上市立山北中学校 3年

本間 陽和 さん

私達はお店でお買い物をする際、必ず商品の値段より多く払っています。そのことについて前から疑問だった私が授業を通して理解したことやおどろいたことをまとめました。

まず、その正体は「税金」と言います。国や地方公共団体が国民が健康で文化的な生活を送るために個人ではできないさまざまな仕事を行います。これらの仕事をするためには多くの費用（財源）が必要であり、そのために国民から負担してもらっているのが「税金」です。税にはたくさんの種類があり、国税と地方税に分かれています。国税は所得税や法人税、消費税などがあり、地方税は自動車税や固定資産税、入湯税などがあります。地方税はまたさらに県税と市町村税に分かれています。とても複雑ですが、私達が安全に生活するために必要なものなのです。

次に、税の使われ方です。教育面では教科書や机、いすの購入、校舎の建設費や修理、教育費などに使われています。医療介護では、健康診断や予防接種、高齢者が安心して豊かに暮らせるための施設やサービスなどの事業にかかる費用などに使われています。新潟県は豪雪地帯が多く、除雪の時にも税金が使われます。その他、新エネルギー対策（太陽光発電）や災害からの復興、ごみの

処理、地域医療（ドクターヘリの導入）にも税金は使用されるのです。

私が税の授業をしておどろいたことがあります。それは、税の歴史についてです。税は弥生時代からあるそうです。現在はお金で納めていますが、昔は米で納めていました。そんなに昔からあったことにとってもおどろいたし、時代はつながっているのだなと改めて実感できました。時代があがるごとに、新しい税ができたり納め方が変わったり、時代の変化を強く感じることができました。

またお金の量も多いなと思いました。まだ私は中学生で義務教育を受けている真っ最中ですが、大量のお金の値を見てとても感激しました。もっと大人になって、仕事をするようになれば、見られる数値なのかもしれませんが、まだ子供だからこそ味わえる気持ちではないのかなと思います。

私は最初はどうして払わなければいけないのか疑問だと思っていました。ですが、税の授業を受けてみて「なるほど」ととても理解できました。税は意味なく集めているのではなく私達のためにあるものなのだを知ることができました。道路がデコボコしていないのも災害への対策も国民が安全に健康に生活するためにしていることです。私は税金を納めていて良かったなと思えだし、これからも国と私達が協力して日本を作っていくかなければならないなと思いました。決して国だけ、私達だけでできることは限られてきます。いつでも協力性をもって素晴らしい国づくりをしていきたいです。日本がもっともっと素晴らしい国になりますように。

